

自分自身の要求積みあげ

より良い労働環境めざそう



素朴な疑問から 職場の実情から

議論の場では各支部からは現状の職場環境の中、なかなか仲間作りが進まない難しさが訴えられました。また、青年層の組合費の引き下げから間口を広げる提案や、フレックスタイム制度、配偶者手当の引き下げについても支部からの質問がありました。

フレックスタイム 労働強化とさせない

本部からはなかなか人のためにと思う運動より、自分自身要求を積み上げるこ

とをまず念頭に考えた上で自分たち労働者としてより良い職場環境を目指すべく運動の重要性について説明がなされました。

また、青年層の組合費については検討をする旨の発言とともに、会議の回数や人数の抑制などを実施し、財政収支の圧縮に努めていく旨の説明がありました。フレックスタイム、配偶者手当の件では、育児・介護への時間に融通が出来る、子ども手当の増額など良い面がある反面、我々に全く相談もなく導入されること、危険性、配偶者手当の減額のみであり付け替えのまい

団結を深める夜の懇親会

夜の夕食懇親会は各地域協議会ごとに出し物や自己紹介が行われ、中部地協では〇×クイズを行い、優勝者へは商品券が配られました。

クイズでは安藤委員長と山崎書記長の頭のサイズの合計は116 cm以上であると言う〇×クイズが出題され、山崎書記長の頭のサイズが安藤委員長の頭のサイズが上回っているという事実が発覚しました。



やかしただけであることが強調され、制度の裏側に隠された労働強化の見極めの重要性について説明されました。

議論への参加できる 運営方法に意見も

今回の財政委員会については、先の大会で改善要求があり、本大会の開催中に別室で行われました。しかし、せっかく代議員として参加しているにもかかわらず、議論に参加できないなどの意見もあり、再考を求められていました。

国交労組は、統一後六年目となります。仲間の要求を大切に、国民の安全・安心に寄与できる国土交通行政の確立を求め、職場・地域で取り組みを進めます。

東海建設支部の北村代議員からは、気象庁の増員署名などしっかりと分析し、今後の三大署名への反映を行い、運動の前進につながるよう見直しも含めた議論を行って欲しいとの発言を行い、議論に参加しました。

国交労組本部は、一〇月八、九日にかけて、東京都内で、青年運動推進全国会議を開催します。

会議では、労働組合についての学習会と今後一年間の青年運動の年次方針について意思統一を図ります。関西勤労協の中田進氏による学習会は、具体的であるもしくろく学ぶことが出来る毎回好評です。

また、第三回全国青年交流集会や今年の活動に関する議論では、若い仲間の要求闘争と学習・交流について議論されます。興味のある方は、お近くの分会役員に問い合わせして下さい。支部から代表者に参加してもらいますので、意見のある方は併せて、分会役員にお伝え下さい。